

平成23年度 当初予算

会計名	平成23年度予算額(A)	平成22年度予算額(B)	増減額(A)－(B)
一般会計	269億8,616万円	263億9,132万円	5億9,484万円
特別会計	208億7,536万円	215億5,295万円	▲6億7,759万円
土地取得事業特別会計	2億8,381万円	6億1,909万円	▲3億3,528万円
国民健康保険事業特別会計	98億1,240万円	101億396万円	▲2億9,156万円
介護保険事業特別会計	33億3,224万円	32億8,417万円	4,807万円
後期高齢者医療特別会計	6億3,238万円	6億2,631万円	607万円
老人保健特別会計	0万円	354万円	▲354万円
駐車場事業特別会計	12億5,811万円	14億2,934万円	▲1億7,123万円
市街地再開発事業特別会計	0万円	6,544万円	▲6,544万円
下水道事業特別会計	55億5,643万円	54億2,111万円	1億3,532万円
企業会計	90億2,760万円	88億776万円	2億1,984万円
水道事業会計	24億6,899万円	23億8,158万円	8,741万円
市立病院事業会計	65億5,861万円	64億2,619万円	1億3,242万円
計	568億8,912万円	567億5,203万円	1億3,709万円

※表示単位未満を四捨五入している関係で、各会計の予算額と計が一致しないことがあります。

環境都市の実現に向けて

平成23年度予算が決定しました。

本市では、事業の選択と集中を行い、市民ニーズの高い事業や、市の発展に不可欠な分野に対し、重点的に配分しました。本年度の一般会計予算は、厳しい雇用情勢を受け、市民税などの市税は減少となる見込みの一方、生活保護費など社会保障制度の一環として計上する扶助費などの増加が見込まれ、前年度比約2.3%増の約270億円となっています。



平成23年度予算が決定しました。本市では、事業の選択と集中を行い、市民ニーズの高い事業や、市の発展に不可欠な分野に対し、重点的に配分しました。本年度の一般会計予算は、厳しい雇用情勢を受け、市民税などの市税は減少となる見込みの一方、生活保護費など社会保障制度の一環として計上する扶助費などの増加が見込まれ、前年度比約2.3%増の約270億円となっています。

最後に、「文化」については、高齢者から子どもまで、だれもが文化・芸術に気軽に触れることができるまちを目指し、平成22年度から始めたカルチャースクールを22回開催してまいります。

平成23年度 泉大津市

予算

市民ニーズの高い「環境」「教育」「文化」の3つの分野に重点配分

平成23年度の予算は、厳しい社会経済情勢の下、歳入面において市税の減少が見込まれるものの、歳出面において、生活保護費を始めとする扶助費や過去の借金の返済に当たる公債費などの増加が見込まれることから、一般会計ベースで前年度比約2.3%増の約270億円となっています。

本市の財政状況は、過去に発行した多額の地方債の返済などを要因として、全国の地方公共団体の中でも特に厳しいと言わざるを得ません。本予算の編成に当たっては、この事実を自覚しつつも、それに委縮して守りに入るのではなく、事業の選択と集中を行い、市民ニーズが真に高い分野および市の更なる発展に必要な不可欠な分野には重点的に配分する攻めの姿勢で挑んでまいります。

まず、「環境」については、将来世代に素晴らしい環境を残す環境都市を目指すための「環境元年」とするべく、昨年12月から開始した家庭系ごみ収集の有料化に伴う収益などを活用して、市内小中学校への太陽光発電設備の設置、住宅用給湯器や太陽光発電システムの設置補助などに取り組んでまいります。

次に、「教育」については、本市の将来を担う子ども達の学習環境の更なる充実を図るべく、少人数指導の推進、3中学校すべての普通教室へのエアコンの設置などに取り組んでまいります。

東日本大震災

3月11日。東日本をおそった大地震は、津波、火災、そして福島原発爆発などの発生で、未曾有の事態を日本にもたらしました。本市はできる限りの支援を、被災地に対し続けていく所存です。

3月11日午後2時46分に、宮城県三陸沖の深さ約24kmでマグニチュード9.0の、千年に一度ともいわれる巨大地震が発生しました。

この地震による被害は、地震そのものによる被害に加えて津波・火災・液状化・福島第一原子力発電所事故など多岐に渡り、1都9県が災害救助法の適用を受けました。

4月14日現在の警察庁発表では、死者および行方不明者の数は合わせて2万8000人を超え、日本災害史において、死者・行方不明者数は関東大震災に次ぐものとなり、今なお、13万人以上の方々が不自由な避難所生活を続けています。

市の支援対応

緊急消防援助隊の派遣

消防本部から3月11日午後7時55分に、緊急消防援助隊として、タンク車1隊5人が、大阪府隊の一員として岩手県大槌町で活動しました。

また、同13日に第2次隊として5人を派遣しました。

支援物資の搬送

▽3月15日 泉州地域7市2町

(泉大津市、高石市、和泉市、忠岡町、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、岬町)が協力し、支援物資(毛布、タオル、備蓄水、簡易トイレ、マスクなど)を被災地へ向け準備。本市職員2人と運送業者で岩手県大船渡市へ搬送。

▽3月17日 第2陣として、泉州地域7市3町(新たに熊取町が参加)が協力し、高石市より福島県相馬市へ支援物資(マスク、毛布など)を搬送。

▽3月18日 16日に現地入りした職員の報告を受け、被災者の要望に応じた支援物資を再度配送することを決定。第3陣として、泉州地域7市3町と兵庫県高砂市が協力し、本市より大船渡市へ支援物資(軽油、灯油、手指消毒剤、医薬品、棺など)を搬送。

▽3月24日 マスク10万枚、軍手2000組、生理用品3000枚を府広域南部防災拠点(泉南市)へ届け、府を通じて被災地へ搬送。

ほか、日本毛布工業組合(旭町22-65 理事長・森口和信)が、毛布9万7000枚を搬送しました。

職員の派遣

応急給水活動の応援に、3月25日に大船渡市へ1人、4月14日は岩手県盛岡市へ2人の上下水道局職員を派遣。また今後、同県宮古市へ保健師を派遣予定。

義援金

3月13日から、市役所1階ロビーほか公共施設8か所で義援金の受け付けをしましたところ、市民の皆さん、各種団体、企業などから多くの善意が寄せられ、4月15日現在で2000万円を超える額となっています。これらの義援金は、日本赤十字社等関係機関を通じて、被災地に送ります。引き続き、ご協力をお願い申し上げます。



岩手県大船渡市の様子。まちはがれきの山が連なるばかりでした。このがれきや木材のひとつひとつが、数日前まではだれかの生活の大切な一部でした。現地入りした職員は、気丈にふるまう被災地の皆さんを見て、かける言葉も見つからなかったといいます。(本市職員撮影)

被災者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。最大限の支援に取り組みます。

この度、宮城県沖を震源とした東日本大震災の発生に際しまして、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

本市といたしましては、連日、甚大な被害が報道されるなか、被災地域の早期復旧及び復興のために最大限、支援に取り組んでいきたいと考えております。

何卒、市民の皆さまも、ご尽力、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、市役所受付前等に義援金の箱をご用意しております。皆さまのお気持ちご協力をよろしくお願いいたします。

泉大津市長 神谷 昇

がんばろう！日本！

環境にやさしいまちづくり 市民ニーズに即した予算編成を 目指しました

歳出の概要（性質別内訳）

■ 扶助費（社会保障制度の一環として、生活保護費や子ども手当など、市民に対してその生活を維持するために市が出している予算）

生活保護費や身体、知的及び精神にかかる障がい者介護訓練等給付費といった社会保障費の増などにより、前年度に比べて2億 2,189 万円、3.3%の増としました。

■ 人件費（市職員や嘱託員など市で働く人の給与を支払うための予算）

平成 22 年度実施の国勢調査にかかる国勢調査費や期末勤勉手当の削減などで職員給を減額とする一方で、退職手当や共済費などの増により、人件費全体では前年度に比べて1億 853 万円、2.3%の増としました。

■ 繰出金（下水道や国民健康保険などの事業に市が出している予算）

市街地再開発事業特別会計の廃止や駐車場事業特別会計などへの繰出金が減となる一方、国民健康保険事業特別会計や後期高齢者医療特別会計及び介護保険事業特別会計などへの繰出金の増により、繰出金全体では前年度に比べて7,526 万円、2.0%の増としました。

■ 公債費（市債の元金や利息の支払いに要する予算）

過去の公共事業や退職手当の財源をまかなうため発行した市債の償還費用である公債費は、全体で前年度に比べて3,516 万円、0.9%の増としています。

■ 物件費（消費的性質を持つ経費の総称であり、光熱水費、賃金、委託料などの支払いに要する予算）・維持補修費

子宮頸がんなどにかかる予防ワクチンの接種拡充による予防接種委託料などの増により、前年度に比べて物件費は3,380 万円、1.4%の増、維持補修費は610 万円、6.1%の増としました。

■ 補助費等（報償費や火災保険料、自動車損害保険料などの役務費、負担金、補助金および交付金などの予算）

泉北環境整備施設組合負担金（清掃）や企業誘致奨励金などの減により、前年度に比べて7,085 万円、3.0%の減としています。

■ 投資的経費（経費の支出の効果が単年度または短期的に終わらず、固定的な資本の形成に向けられる予算）

南海中央線街路事業や河原町市営住宅建替整備事業、小中学校の太陽光発電設備整備事業などが増となる一方、南海本線連続立体交差事業といった継続事業にかかる事業費などの減により、前年度に比べて4,670 万円、2.4%の減としています。

■ 積立金（特定の事業を実施するために、積み立てや運用をおこなう資金を基金として積み立てるための予算）

都市施設整備基金や一般家庭ごみ収集手数料収入に伴う地域環境基金への積立金の増などにより、前年度に比べて2億 3,160 万円、40.9%の増としています。

歳出（目的別内訳）の用語の説明

■ **民生費**…高齢者や障がいのある人・児童など福祉全般の事務や事業に使う予算

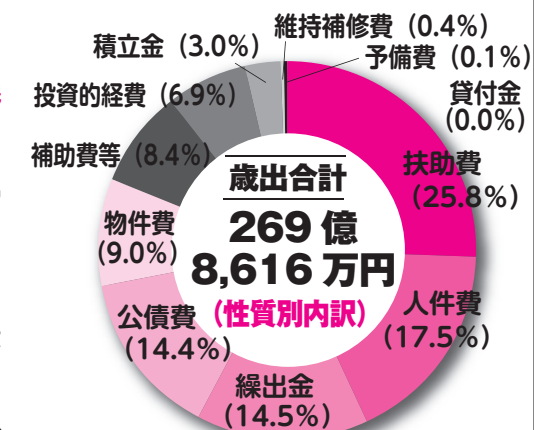
■ **土木費**…道路や公園整備、住宅管理などに使う予算

■ **衛生費**…保健衛生、ごみ処理など安全で衛生的な生活のために使う予算

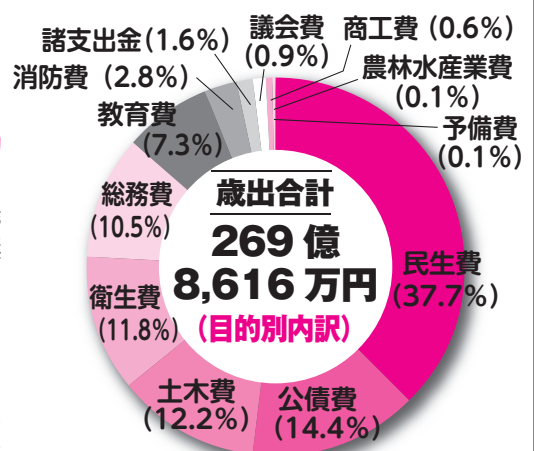
■ **総務費**…市の全般的な管理事務や統計・徴税・戸籍事務・選挙などに使う予算

■ **教育費**…幼稚園や学校運営をはじめ、公民館など社会教育施設を含めた教育一般に使う予算

歳出



扶助費	69 億 6,188 万円
人件費	47 億 3,456 万円
繰出金	39 億 765 万円
公債費	38 億 8,663 万円
物件費	24 億 3,555 万円
補助費等	22 億 6,067 万円
投資的経費	18 億 6,777 万円
積立金	7 億 9,804 万円
維持補修費	1 億 645 万円
予備費	2,500 万円
貸付金	196 万円



民生費	101 億 8,722 万円
公債費	38 億 8,663 万円
土木費	32 億 7,927 万円
衛生費	31 億 9,564 万円
総務費	28 億 4,435 万円
教育費	19 億 5,705 万円
消防費	7 億 5,647 万円
諸支出金	4 億 2,816 万円
議会費	2 億 4,481 万円
商工費	1 億 5,208 万円
農林水産業費	2,948 万円
予備費	2,500 万円

歳入

雇用情勢に改善見られず 歳入の4割占める市税収入は 前年度比0.4%減の見込み

歳入の概要

■ 市税（市民税・固定資産税・都市計画税など、皆さんから納めていただくお金）

企業収益の回復による法人市民税1億 6,645 万円の増や、固定資産税4,603 万円の増を見込む一方、給与所得の落ち込みにより個人市民税2億円の減、市たばこ税5,737 万円の減を見込んだ結果、市税全体では前年度に比べて4,739 万円、0.4%の減としました。

■ 国庫支出金

生活保護費負担金や南海中央線整備事業にかかる補助金などの増により、前年度に比べて3億 1,658 万円、7.2%の増としました。

■ 地方交付税（所得税など国が徴収した税金の中から、すべての市町村で標準的な行政サービスを提供できるよう国から交付されるお金）

普通交付税、特別交付税を合わせて35億 2,500 万円を見込んでいます。

■ 市債（事業を行うため金融機関などから借り入れるお金）

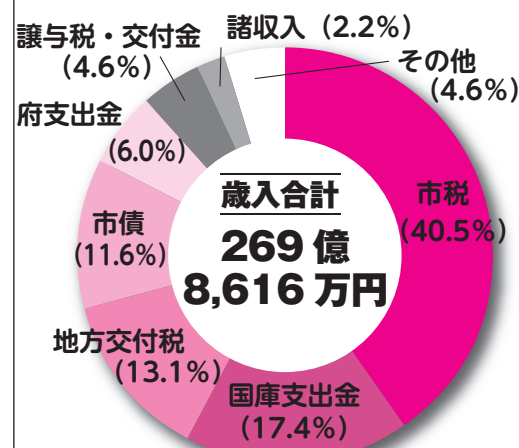
南海中央線の街路整備事業や職員の退職手当などの財源として、前年度に比べて1億 3,800 万円、4.6%の増としています。なお、借換債を除いた実質的な市債の発行額は、前年度に比べて1億 9,800 万円の増となります。

■ 府支出金

府から市への事務権限移譲に伴う権限移譲推進特別交付金、大阪府知事選挙委託金、府議会議員選挙委託金などの増により、前年度に比べて1億 2,513 万円、8.4%の増としました。

■ 繰入金

交流とふれあいのまちづくり基金からの繰入が減となる一方、都市施設整備基金からの繰入の増、今年度創設した地域環境基金からの繰入による増などにより、繰入金全体では前年度に比べて2,698 万円、5.2%の増としました。



市税	109 億 3,485 万円
個人市民税	34 億 1,477 万円
法人市民税	7 億 6,237 万円
固定資産税	51 億 9,369 万円
軽自動車税	7,693 万円
市たばこ税	4 億 8,347 万円
都市計画税	10 億 362 万円

国庫支出金	47 億 321 万円
地方交付税	35 億 2,500 万円
市債	31 億 2,640 万円
府支出金	16 億 828 万円
譲与税・交付金	12 億 5,515 万円
諸収入	5 億 8,032 万円
その他	12 億 5,295 万円

※「その他」は、使用料及び手数料、繰入金、分担金及び負担金、財産収入、繰越金、寄附金

財政健全化判断比率 の状況

平成19年に成立した「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく財政の健全度を測る4つの指標（①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率）と、公営企業の⑤資金不足比率については右の表のとおりです。

財政健全化を判断するための

①～⑤の指標についての説明

- ①実質赤字比率…一般会計を中心とした赤字の割合
- ②連結実質赤字比率…一般会計、特別会計、公営企業のすべての会計の赤字の割合
- ③実質公債費比率…年間の借金返済額の割合
- ④将来負担比率…将来負担が見込まれる負債の割合
- ⑤資金不足比率…公営企業の資金不足の割合

■財政の健全度を測る4つの指標の値

	泉大津市		早期健全化基準	財政再生基準
	21年度	20年度		
①実質赤字比率	-	-	12.73	20.00
②連結実質赤字比率	13.79	12.10	17.73	40.00
③実質公債費比率	18.4	17.3	25.0	35.0
④将来負担比率	246.9	245.4	350.0	

※早期健全化基準、財政再生基準は平成21年度基準値である。

※早期健全化基準値以上になると、自治体の自主的な取り組みにより財政健全化を行う。

※財政再生基準値以上になると、国の関与を受けながら、財政再建を行う。

■公営企業の資金不足比率

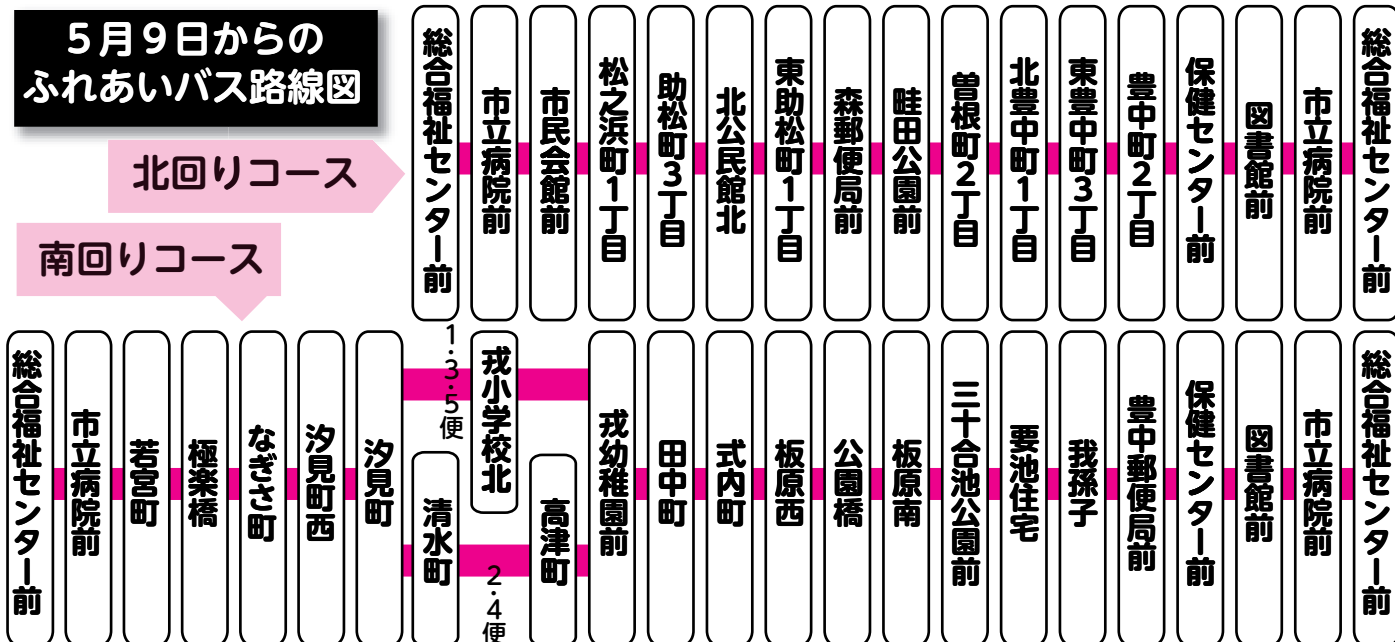
会計名	水道事業会計		病院事業会計		下水道事業特別会計		市街地再開発事業特別会計	経営健全化基準
	H21	H20	H21	H20	H21	H20	H21	H20
⑤資金不足比率	-	-	9.6	-	-	-	-	-

※経営健全化基準値以上になると、経営健全化計画を策定し自主的に経営健全化を行う。

5月9日からの ふれあいバス路線図

北回りコース

南回りコース



5月9日からの予定時刻表

※交通事情により、運行時刻に乱れが生じることがあります。ご了承ください。

■北回りコース

停留所名	1便	2便	3便	4便	5便
総合福祉センター前	9:01	10:16	12:20	13:35	15:10
市立病院前	9:03	10:18	12:22	13:37	15:12
市民会館前	9:07	10:22	12:26	13:41	15:16
松之浜町1丁目	9:09	10:24	12:29	13:44	15:19
助松町3丁目	9:12	10:27	12:32	13:47	15:22
北公民館北	9:14	10:29	12:34	13:49	15:24
東助松町1丁目	9:16	10:31	12:36	13:51	15:26
森郵便局前	9:19	10:34	12:39	13:54	15:29
畦田公園前	9:23	10:38	12:43	13:58	15:33
曾根町2丁目	9:26	10:41	12:46	14:01	15:36
北豊中町1丁目	9:29	10:44	12:49	14:04	15:39
東豊中町3丁目	9:37	10:52	12:57	14:12	15:47
豊中町2丁目	9:41	10:56	13:01	14:16	15:51
保健センター前	9:43	10:58	13:03	14:18	15:53
図書館前	9:46	11:01	13:06	14:21	15:56
市立病院前	9:49	11:04	13:09	14:24	15:59
総合福祉センター前	9:55	11:10	13:15	14:30	16:05

■南回りコース

停留所名	1便	2便	3便	4便	5便
総合福祉センター前	9:17	10:31	12:37	13:51	15:27
市立病院前	9:19	10:33	12:39	13:53	15:29
若宮町	9:23	10:37	12:43	13:57	15:33
極楽橋	9:24	10:38	12:44	13:58	15:34
なぎさ町	9:28	10:42	12:48	14:02	15:38
汐見町西	9:32	10:46	12:52	14:06	15:42
汐見町	9:33	10:47	12:53	14:07	15:43
戎小学校北	9:34		12:54		15:44
清水町		10:48		14:08	
高津町		10:49		14:09	
戎幼稚園前	9:35	10:50	12:55	14:10	15:45
田中町	9:41	10:56	13:01	14:16	15:51
式内町	9:45	11:00	13:05	14:20	15:55
板原西	9:48	11:03	13:08	14:23	15:58
公園橋	9:49	11:04	13:09	14:24	15:59
板原南	9:52	11:07	13:12	14:27	16:02
三十合池公園前	9:53	11:08	13:13	14:28	16:03
要池住宅	9:55	11:10	13:15	14:30	16:05
我孫子	9:56	11:11	13:16	14:31	16:06
豊中郵便局前	9:58	11:13	13:18	14:33	16:08
保健センター前	10:00	11:15	13:20	14:35	16:10
図書館前	10:03	11:18	13:23	14:38	16:13
市立病院前	10:06	11:21	13:26	14:41	16:16
総合福祉センター前	10:12	11:27	13:32	14:47	16:22

※南回りコースの【汐見町】と【戎幼稚園前】間については、便ごとに停留所が異なります。
●1、3、5便
【汐見町】→【戎小学校北】→【戎幼稚園前】
●2、4便
【汐見町】→【清水町】→【高津町】→【戎幼稚園前】

40～74歳の
市国民健康保険加入者の皆さんへ

受けましょう！ 特定健診

市では次のとおり保健センターで集団健診を開催します。集団健診は予約不要です。なお駐車場には限りがありますので、自転車や徒歩でお越しください。また、集団健診以外に、医療機関で受診できる個別健診も実施しています。
対象 40～74歳（75歳誕生日前日～昭和47年3月31日生まれ）の泉大津市国保加入者

■集団健診 6月3日（金）、5日（日）の午前9時～11時30分に保健センターにて受診
■個別健診 受診券到着後から平成24年3月31日まで。受診前に、市内特定健康診査指定医療機関（受診券同封のパンフレット参照）へお問い合わせください。
持物 次の①～④をご持参ください。①特定健康診査受診券・質問票（4月下旬に市国保被保険者の皆さんに送付。途中加入の人は加入日の翌月末に発送）②泉大津市国民健康保険被保険者証（保険証）③健診料 1,000円 ④介護保険証（65歳以上の人で個別健診のみ）
問合 保険年金課（市役所1階5番窓口）



本市にお住まいの高齢者や妊産婦などを対象に、市内の公共施設などを循環する無料の「ふれあいバス」を運行しています。南・北の2コース、それぞれ1日5便ずつ運行しています。が、より便利になるように、5月9日から南回りコースを一部変更します。これに伴い、停留所の新設や移設、時刻表も変更しますのでご注意ください。

新しい時刻表は、高齢介護課、総合福祉センター、保健センター、南・北公民館、図書館、市立病院に設置しています。

ふれあいバスに乗り得る人

- ▽60歳以上の人
- ▽妊産婦
- ▽乳児（おおむね1歳）連れの人
- ▽身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの人
- ▽右記の人の介添え者

問合 高齢介護課（市役所1階7番窓口）

妊産婦や、60歳以上の人などが無料でご乗車いただけるバスです。



南回りコースの新設停留所（★印が新設場所）

●清水町



●高津町



●公園橋



●板原南



●三十合池公園前



●要池住宅



ふれあいバスの停留所は、電柱に巻き付けた黄色いシートが目印！

※一部は通常のバス停の形をしています。

南回りコースの移設停留所（矢印の先の★印が移設後の場所）

●汐見町



●戎幼稚園前



●板原西



その他の注意事項

●南回りコースの【板原東停留所】は廃止となります。
●北回りコースの【北公民館前】停留所の名称を【北公民館北】に変更します。

